

..... 編集後記 .....

◆ 今月号は特集「土壤汚染」の原稿5編と一般投稿原稿6編から構成されています。土壤汚染対策法が2003年から施行されていますが、その調査・評価・管理に関する研究開発が緊急な課題となっています。本特集はこれに一部応えるものです。また、一般投稿原稿は、火山、鉱床、海外留学、国際会議、砂浜、標本館に関する報告です。

◆ 特集「土壤汚染」では、最初に松永 烈さん他が、産業技術総合研究所が分野融合研究として取り組んだ土壤汚染の研究成果について報告しています。本研究には組織を超えた14名の研究者が参画しました。続いて駒井 武さんが鉱物油等に起因する土壤汚染について、その対策の問題点と浄化対策の技術的課題について報告しています。土屋範芳さん他は、現在3ヶ年計画で進めている地理情報システムを利用した「地圏環境インフォマティックスのシステム開発」の概要と、仙台平野での鉛濃度の事例調査結果を報告しています。竹内美緒さん・駒井 武さんは微生物がもつ環境浄化力について報告するとともに、今後、実験室の成果を現場に適用する際の問題点について記述しています。川辺能成さん他は、土壌や地下水に負荷された化学物質のヒトへの暴露量およびリスクを算出するための地圏環境評価システム(GERAS)について紹介しています。そのシステムの入手方法についても記されています。

◆ 川辺禎久さん・中野 俊さんは、古い資料の中から、桜島火山の大正噴火が撮影されたガラス写真乾板を見つけ出しました。この記録について紹介するとともに、現在の桜島の火山活動についても報告して

います。表紙と口絵と併せてご覧下さい。

◆ 伊達二郎さんは、秋田県大館盆地での黒鉱々床がどのように発見されたかについてご自分の体験に基づいて報告しています。その中で、決め手となった探鉱指針が何であったかを明確にさせています。

◆ 天満則夫さんは米国ロスアラモス研究所で1年半に亘るCO<sub>2</sub>地中貯留の研究を終え、最近帰国しました。その時の体験を生活面と研究面から報告しています。

◆ 町田 功さん他は、今年9月に北京で開催されたCCOPの地下水プロジェクト会議の様子を紹介しています。その中で東南・東アジア参加国が抱えている地下水問題が報告されています。

◆ 有田正史さん他は、シリーズ「砂と砂浜の地域誌(12)」として北海道最北端、宗谷の砂浜を紹介しています。ここは南国の白い砂浜とは対照的な荒涼とした黒い砂浜です。

◆ 標本館だよりでは、新たに設置された自動体外式除細動器とそれに伴う救命救急講習会の様子が紹介されています。

◆ 今月号は2006年最後の出版です。読者の皆様にとって、今年はどうな一年だったでしょうか。地球を取り巻く環境は、気候温暖化に象徴されるように厳しさを増す一方です。化石エネルギー資源から再生利用可能なエネルギー資源の利用に転換せざるを得ない状況です。本誌では、このような地球に関わる諸問題を多面的に捉え、その実態、メカニズム、対策、普及に関わる最新情報を発信していきたいと考えています。今後ともご愛読の程、よろしく願い申し上げます。(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・七山 太・

光畑裕司・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース	第628号	2006年	12月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2006年12月1日 発行			
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2006 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞が関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。